アルバイト給与シミュレーター

金谷 健人

開発した理由

残業代も含めた、アルバイトの1ヶ月分の給与がどれくらいになるか計算したかったため。

アプリのアイコン



- ①時給を入力する。(5桁まで入力可)
- ②勤務時間を選択する。
- ③勤務回数を選択する。
- ④スイッチを押下すると、②③と同様のドロップダウンボタンが表示される。
- ⑤スイッチを押下すると、②③と同様のドロップダウンボタンが表示される。
- ⑥スイッチを押下すると、15分刻みの前残業時間が表示され、その回数を選択するドロップダウンボタンも表示される。
- ⑦後残業時間を入力する。(5桁まで入力可)
- ⑧有給回数を選択する。

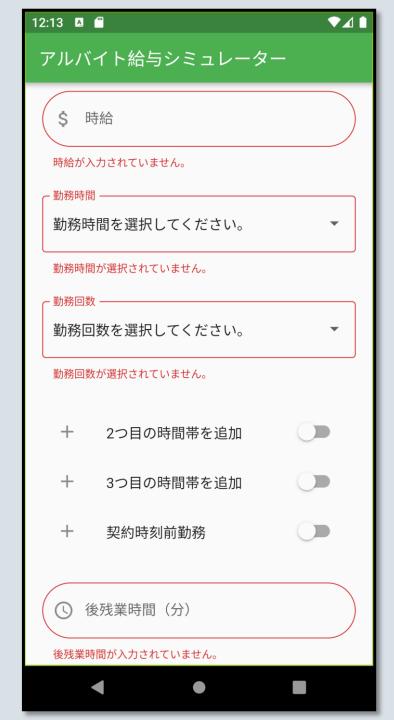


⑨「リセット」ボタンを押下すると、テキストボックスに入力されている値はクリアされ、ドロップダウンボタンで選択されている値は初期値に戻る。

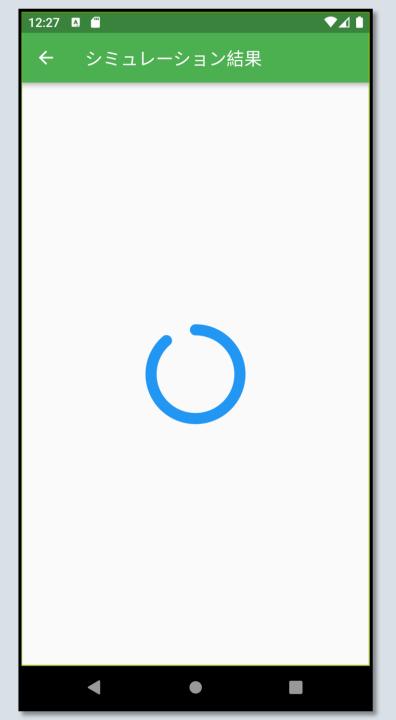
⑩「計算する」ボタンを押下すると、 シミュレーション結果画面に遷移する。



- ・時給と後残業時間が未入力だと、 エラーメッセージが表示される。
- ・ドロップダウンボタンが未選択だと、エラーメッセージが表示される。
- ・エラーがある場合は、シミュレー ション結果画面に遷移することがで きない。



ローディング画面



シミュレーション結果画面

例)

時給:950円

勤務時間:4時間30分 15回

勤務時間2:2時間30分 5回

前残業時間:15分 15回

後残業時間:100分

有給回数:1回

「戻る」ボタンを押下すると、入力画面へ遷移する。



感想

- ・初めてDartに触れたため、自分が思い描くアプリを実装できるか不安だったが、100%実装することができたため嬉しかった。
- 自分にとって必要な情報を得ることの大切さを改めて学んだ。
- ・給与明細と照らし合わせてみたら4月分は誤差0円、5月分は誤差-3円、6月分は誤差+1円であったためほぼ正確といえるだろう。小数の切り上げ・切り捨てで若干の誤差があるようだ。
- ・部品のデザインが非常に気に入ったため、Android Studioで開発するよりもflutterの方が良いかもしれないと思った。